

高校生議長による閉会メッセージ



ここ『「世界津波の日」 2018高校生サミットin和歌山』で、私達は「稲むらの火」の精神を将来へ継承していくことを宣言しました。

「稲むらの火」の精神への私たちの誓いを示すため、稲むらに放たれた火に敬意を表し、皆でトーチを掲げましょう！

今回のサミットでは、すべての国にとって貴重な多くのことを学ぶことができました。防災という言葉は、単に私たちの命を守るだけでなく、私たちにとって貴重なものを守っていくという意味です。皆さんが学んだことを、皆さんの地域社会に持ち帰ってください。そして将来の災害に備えていきましょう。世界の防災においてリーダーとなるのは、私たち、若き津波防災大使です。だからこそ、私たちがしっかりと行動を起こすことで世界を変えられるということを忘れないでください。

このサミットで皆さんの防災に対する理解が深まり友情が築かれたと思います。地震津波への備えや、お互いを助け合うことについて、私たちの意識はより高まりました。私たちの故郷、ここ和歌山に来ていただきありがとうございました。楽しんでいただけましたか。

今後も友情を育んでいきましょう。

火を象徴とし、「稲むらの火」の精神がここにいる私たち全員の心に広がりました。心の中の火を消すことなく、その精神を皆さんのまわりの人たちと共有してください。

これもちまして、『「世界津波の日」 2018高校生サミットin和歌山』を閉会いたします。
ありがとうございました。

高校生議長

中井 充歩 (和歌山県立日高高等学校3年生)

伊森 安美 (和歌山県立串本古座高等学校2年生)